

平成19年度 分野チェックリスト

分野名	みどり・環境分野		分野番号	2
分野担当部	環境清掃部	関連部	都市整備部	

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化							
番号	指 標 名	単位	指 標 値			目 標 値	
			16年度	17年度	18年度	22	年度末
1	杉並区の大気の状態(二酸化窒素の濃度)	ppm	0.037	0.036	0.036	0.030	
2	区民一人あたりのごみ排出量	g/日	672	667	649	24年度 429g 現状の40%減	
3	リサイクル率	%	19.7	20.5	20.7	24年度 43%	
4	公共施設の緑化面積	ha	26.16ha (14年度) 5年ごとの調査			増大させる	
5	杉並区が美しいと思う人の割合	%	67.1	69.1	65.2	70%	
指標の状況、定義は裏面をご覧ください。							

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化の状況(分析)
<p>1 東京都が平成15年10月から開始したディーゼル車規制の効果が徐々に現われてきていると思われる。さらに、平成18年度に実施された規制基準の強化や国のより厳しい排気ガス規制による効果が期待できる。さらに、ロードプライシングなどの自動車通行量を減少させる公害防止対策を講じることがより効果的である。今後も、CNG車など低公害車普及促進などにより、大気汚染対策に取り組むことにより指標値を減少させていく。</p> <p>2 一般廃棄物処理基本計画及びごみ半減プランの目標達成に向け、プラスチック製容器包装集積所回収を区内1/3地区に拡大し、ペットボトル集積所回収モデル事業を約16,800世帯に拡大するなど、事業を着実に進めている。また、広報すぎなみ特集号などにより、ごみの減量やリサイクルについての普及啓発活動を行った。こうしたことから18年度のごみ総量(可燃・不燃・粗大)は減量した。そのため、区民1人あたりのごみ排出量は減少した。</p> <p>3 杉並区では、リサイクルできないプラスチックを焼却して熱回収を行うサーマルリサイクルを20年度から実施する。それに向けて、リサイクルできるプラスチック製容器包装やペットボトルの回収事業を推進していく。回収事業の推進にあたっては、回収したものを選別・圧縮・梱包・保管する資源化施設が不可欠である。</p> <p>4 平成14年度実施のみどりの実態調査による公共施設の緑化率は17.4%である。本調査による区の緑被率は目標の20%を達成した。これは、みどりを大切に守り育てる区民の協力なしには達成できない。今後も公共施設では校庭の緑地化や屋上緑化などに積極的に取り組む。そして新たな緑被率の目標25%を目指して区民とともに杉並のみどりづくりに努めていく。</p> <p>5 平成15年10月に施行した「杉並区生活安全及び環境美化に関する条例」の成果に伴い、平成17年度までは指標の値は着実に目標値に近づいてきたが、平成18年度では若干ではあるが数値が減少した。これは、前記条例が施行されて時間が経過し、「目新しさ」がなくなってきたことも理由のひとつと考えられる。今後は、たばこの吸い殻に対するキャンペーン等をより一層行いながら、条例の周知とともに環境美化の施策を積極的に推進していく。</p>

チェックリストの状況(参考)

番号	名称	関連データ(他自治体との比較等)																								
	定義																									
1	杉並区の大気の状態(二酸化窒素の濃度)	(単位:ppm)																								
	杉並区役所測定室の二酸化窒素の測定値(定点測定) 二酸化窒素の1時間値の年平均値(単位:ppm)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日比谷</td> <td>0.043</td> <td>0.042</td> <td>0.041</td> <td>0.041</td> </tr> <tr> <td>八幡山</td> <td>0.040</td> <td>0.042</td> <td>0.039</td> <td>0.040</td> </tr> <tr> <td>区部平均</td> <td>0.041</td> <td>0.039</td> <td>0.039</td> <td>0.038</td> </tr> <tr> <td>多摩平均</td> <td>0.034</td> <td>0.032</td> <td>0.032</td> <td>0.031</td> </tr> </tbody> </table>		15年度	16年度	17年度	18年度	日比谷	0.043	0.042	0.041	0.041	八幡山	0.040	0.042	0.039	0.040	区部平均	0.041	0.039	0.039	0.038	多摩平均	0.034	0.032	0.032
	15年度	16年度	17年度	18年度																						
日比谷	0.043	0.042	0.041	0.041																						
八幡山	0.040	0.042	0.039	0.040																						
区部平均	0.041	0.039	0.039	0.038																						
多摩平均	0.034	0.032	0.032	0.031																						
2	1人1日(年間)あたりの排出ごみ量(家庭系)	23区 702g(18年度) 東京都 996g(17年度) 国 1,086g(16年度)																								
	ごみ(可燃+不燃+粗大)÷杉並区の人口(10月1日現在、外国人を含む)÷365日 一般廃棄物処理基本計画のごみ減量に係る指標の一つ	【参考】 東京二十三区清掃一部事務組合:平成18年度ごみ量確定値 東京都環境局一般廃棄物対策課:「東京都区市町村清掃事業年報平成17年度」より23区の収集方法に合わせてごみ量を再集計した。 環境省:「一般廃棄物処理事業実態調査 平成16年度」																								
3	リサイクル率	23区 19.98%(18年度区収集量、資源は旧ルール、集団回収、拠点回収、廃プラ回収、ペット集積所回収モデル事業) 東京都 23.85%(17年度行政収集量。多摩地区は有害ごみも含む)																								
	$\frac{\{\text{区資源回収量(資源の日+ペットボトル拠点回収+布拠点回収)}+\text{集団回収量}\}}{\{\text{ごみ排出量}+\text{区資源回収量}+\text{集団回収量}\}}$ 一般廃棄物処理基本計画の算出方法による	【参考】 東京二十三区清掃一部事務組合:平成18年度ごみ量確定値 東京都環境局一般廃棄物対策課: 「東京都区市町村清掃事業年報 平成17年度」																								
4	公共施設の緑化面積	近隣区との比較(他区との比較は緑化率で行う)																								
	公園を除く公共施設の緑化率	練馬区(13年度調査) 11.2%(緑被率) 世田谷区(13年度調査) 20.8% 目黒区(16年度調査) 13.7%(緑被率・区立施設のみ) 杉並区(14年度調査) 17.4%																								
5	杉並区が美しいと思う人の割合	近隣区の住みやすさ等の調査																								
	「杉並区区民意向調査」より	新宿区 住まい周辺の環境がよい(25.1%) 世田谷区 地域の生活環境がよい(48.3%) 練馬区 まちなみの美しさ(24.9%) いずれも平成16年度データ																								
特記事項																										